

主 な 内 容

会長就任挨拶	鎌田正幸	1	面
役員名簿	鎌田正幸	1	面
近況報告	高橋英登	2	面
葛飾区の地域医療への取組	鎌田正幸	2	面
区議会を代表してのご挨拶	明彦み次	2	面
医科と歯科の連携	鎌田正幸	2	面
葛飾区における高齢者への取組	鎌田正幸	3	面
東京都における高齢者への取組	鎌田正幸	3	面
地場の連携	鎌田正幸	3	面
共に歩む	鎌田正幸	3	面
新執行部に託す	鎌田正幸	4	面



葛歯連盟広報

発行所

葛飾区歯科医師連盟

東京都葛飾区青戸7-1-20

電話 03-3602-0648・3603-2691

編集発行人 鎌田正幸

印刷所 一世印刷株式会社

会長就任挨拶

葛飾区歯科医師連盟 会長 鎌田 正幸



盛夏の候、会員の皆様方には、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。
平素は葛飾区歯科医師連盟の活動にご支援ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。
さて私議、平成27年3月28日の第73回定期総会におきま



平成二十七年 葛飾区歯科医師連盟役員名簿

平成27年7月1日
平成29年6月30日

会長	鎌田 正幸
副会長	加藤 秀之
副会長	泉 伸吾
副会長	中島 章雄
専務理事	小泉 王介
常務理事	足立 勝正
常務理事	藤井 英貴
常務理事	武藤 功英
常務理事	佐藤 裕介
常務理事	長谷川 晶秀
理事	生熊 一政
理事	中村 厚子
理事	比留間 清武
理事	川本 晴喜
理事	星谷 透
理事	塚本 裕介
理事	北澤 弘平
理事	加藤 静悟
理事	高橋 文夫
理事	島田 雅章
理事	鎌田 正幸
理事	杉山 征三
理事	泉 伸吾
理事	長谷川 晶秀
理事	梅本 芳夫
理事	秋葉 和実
理事	高橋 昭成
理事	丸山 裕司
理事	関 裕信

連盟活動のこれから

東京都歯科医師連盟 会長 高橋 英登



平素は都歯連盟の会務・運営に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
平成25年3月の都歯連盟第11回評議員会にて多くの評議員の先生方の御支援を賜り、会長に就任して以来、光陰矢の如し無我夢中で走り続けてまいりました。
この2年間、就任直後の都議選を始めとするいくつかの選挙戦を戦い、「歯科」に理解のある議員を多数当選に導くことができました。また始の地区を訪問させていただき、連盟活動の必要性をより多くの先生方に御理解いただけるよう講演会等を通じて活動してまいりました。その結果として現在360名を上回る新入会・再入会をいただき、非常に厳しかった本連盟の財務体質もわずかではあります

が、向上になりつつあります。そして、本来の連盟のありべき姿である公益社団法人東京都歯科医師会の活動を強力にバックアップする体制も整いつつあり、与党都議団の御協力をいただき歯科保健予算の面でも会員にとって有益な施策が充実されつつあります。
支えて下さいました皆様方に感謝!
これら会務が順調に遂行さ

「近況報告」

衆議院議員 平沢 勝栄



鎌田正幸会長はじめ葛飾区歯科医師連盟の先生方には、平素は何かとお世話になり有難うございます。とりわけ貴連盟の先生方には歯科診療などを通じて区民の皆さんの健康の維持や増進、そして地域の充実・発展に大変に尽力され、区民の皆さんから整備に取り組みます。
② 東京都歯科医師会との連携をより強固できめ細やかなものにし、都民として会員のための歯科医療提供体制の充実と健全な経営環境の整備に取り組みます。
③ 会計処理の透明化をさらに進め、諸経費の削減に努め、会員に信頼される財務運営を行います。
④ 東京都歯科医師会との同時入会の促進とともに、退会・未入会者に対して連盟活動への参加を積極的に呼びかけ、さらなる会員増強・組織力の強化に努めます。
現在、我が国の医療は大きな変革期を迎えています。厳しい財源のもと、国民皆保険制度が維持できるかも不透明な状況です。国民皆保険制度から「歯科」が外されたら、会員はどうなってしまうのでしょうか？
連盟活動なくして、まともな歯科医療を持続させることはできません。会員の先生方の熱意ある御支援があれば、歯科界は変えられます！ 今後はとも倍旧の御支援を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

われつつある連盟活動への信頼を再度取り戻せるようより一層の努力を惜しまぬ所存です。
① 日歯連盟、地区支部・連盟との連携を密にし、情報の共有化に努め、会員であったり良かったと感じてもらえるような魅力ある組織化を目指します。
昨年、我が国の医療は大きな変革期を迎えています。厳しい財源のもと、国民皆保険制度が維持できるかも不透明な状況です。国民皆保険制度から「歯科」が外されたら、会員はどうなってしまうのでしょうか？
連盟活動なくして、まともな歯科医療を持続させることはできません。会員の先生方の熱意ある御支援があれば、歯科界は変えられます！ 今後はとも倍旧の御支援を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

きません。積極的平和主義で日本も世界や地域の平和と安定に憲法などの制約の範囲内で協力をしていくことは国際社会の一員として当然ではないかと考えております。

中韓などの近隣諸国とは残念ながら歴史問題や領土問題など依然として厳しい関係が続いています。私たちは国家として譲れないところは毅然と対応しつつも、隣国であるだけに真の友好関係の確立に向け、一層の努力をしなければならぬと考えるべきです。北朝鮮問題については依然として前進が見られませんが、拉致問題は関係者が高齢であることから、時間との勝負となっており早く結果を出さなければならぬと考えております。

年の4月に東京理科大学が学生数4,300人でオープンしました。長い歴史と伝統に輝く大学が当地にオープンしたことは誠に喜ばしい限りです。大学側は地元の方々と共に歩み開かれた大学を目指しており、大学のオープンに大学にとつても、そして葛飾区にとつても大きなプラスとなっています。大学は葛飾にキャンパスをオープンしてから地域の方々と交流を積極的に進めています。そして、葛飾区民が温かく学生たちを迎えてくれることを大変に喜んでおられます。私たち葛飾区民にとつては嬉しい限りです。

ふれる街、そして更に便利で住みやすい街、そして子供も高齢者も誰もが楽しく元気に住める街にしていきたいと思っております。

区議会を代表してのご挨拶

葛飾区議会 議長 秋家 聡明



おいく味わい、周囲との会話やスポーツを楽しむなど、健康で豊かな生活を営むために重要な役割を果たしているだけに、心身の健康にも大きく関わっています。

鎌田正幸会長はじめ葛飾区歯科医師連盟の皆様には、日頃からの、区政の各般にわたりまして、ご支援、ご協力をいただき、区議会を代表して厚く御礼を申し上げます。

また、歯周病の予防が、糖尿病などの生活習慣病を未然に防ぎ、早産や肺炎などの発症率を減少させる一方、食べ物をしっかり噛むことができれば、全身の栄養状態も良くなり、さらに、良く噛むことで脳が活性化され、認知症のリスクを軽減するという調査

結果もあります。口の中だけでなく、全身の健康をよりよく保つためにも、歯科医療は大変重要であることが明らかになってきております。

そして、80歳で20本以上の歯を残そうという「8020運動」を推進し達成することは、生涯を通して、いきいきと暮らす上で必要であり、また、それを達成するためには、乳幼児期から高齢期までの、それぞれの時期に合わせた、適切かつ効果的な歯科口腔保健の関与が重要な課題になっております。

さて、本区では平成26年3月に「かつしか健康実現プラン」を策定し、歯と口腔の健康について、目標を「区民が自ら歯科疾患の予防に取り組み、歯と口腔の満足度が向上するよう、支援体制を整えます」と定めました。

本区のごこうした取り組みは、76.4%でございます。こうした状況を踏まえ、本区では、プランの目標を達成するための取り組みとして、生涯にわたる歯と口腔の健康づくりである「8020運動」を推進するため、定期的な口腔ケアの必要性の普及に努め、かかりつけ歯科医の定着を図っております。また、各種歯科健康診査や健康教育を通じて、歯科口腔保健の普及啓発を行っております。

「葛飾区」の地域医療への取り組みについて

葛飾区長 青木 克徳



葛飾区歯科医師連盟の皆様方には、平素より本区の歯科保健医療分野における地域医療活動に数々のご尽力を賜りますとともに、幅広くご支援をいただき誠にありがとうございます。深く御礼を申し上げます。

生活環境の改善や医学の進歩等により我が国は、世界有数の長寿国となっておりますが、平均寿命の長さだけでなく、住み慣れた地域で、生涯

を通じて自分らしく、健康的にいきいきと安心して暮らすことが大切であると考えます。

葛飾区においても、食生活など生活スタイルが多様化する中、生活習慣病の予防をはじめ、こころの健康、安全・安心な生活環境の確保、医療環境の充実が今後ますます重要になってまいります。

そこで、本区では「いつまでも、自分らしい健康を！」を応援するため、「健康寿命の延伸」を目指し、住み慣れたまちでいきいきと生活できるように「健康でともに支えあい、いきいき暮らせる地域社会づくり」に取り組んでま

います。

なかでも口腔環境は、人が生きていくうえで基本となる食生活を支える重要な要素であり、日々の歯磨き習慣など、生活の中で常に気を配っておくべきものの一つと考えます。

皆様には、日頃から歯科健診事業など、区民の口腔環境の保持につきましてご尽力賜り、改めて御礼申し上げます。

本区の歯科保健医療分野におきましては、昭和56年に障害児者の歯科診療施設として「ひまわり歯科診療所」を開設いたしました。皆様方には、並々ならぬお力添えをいただき、今日まで継続されております。当時は、その先駆者から多くのマスコミで取り上げられ、区外からも大きな関心を集めました。昨年度は1,405名が受診しており、開設以来、延べ3万8千

人を超える方々が受診されております。

一方、平成2年には、「たんぼ歯科診療所」を開設し、寝たきり高齢者の歯科診療という困難な分野にも積極的に取り組んでいただいております。この取り組みは、在宅での歯科診療を基本としていくことから、患者のみならず、ご家族の方々からも大変感謝されております。昨年度は1,249名が受診してあり、開設以来、延べ2万7千人を超える方々が受診しております。

一方、乳幼児期の良好な歯科環境の維持といたしましては、平成19年度から都内で初めて2歳児とその母親をペアにした歯科健診と予防処置を行う「すくすく子育て歯科健診」を開始しました。

また、今年からは、従前の1歳2か月児の歯科健診に代わり、子供の成長を実感していただくため、体重など身体測定を加えた1歳児の歯科健診を「ハッピーバースデーす

くすくす歯科健診」としてスタートさせました。

このように、区ではあらゆる年代の口腔環境の向上を図ってきておりますが、これらの事業を進めて行くためには、歯科医師連盟の皆様のご協力なくしては成り立たない事業であり、長きにわたる献身的な取り組みにより区民の歯科保健医療の向上が図られているものと確信しております。

更に皆様には、災害時の歯科医療支援として、毎年、区と地域が協働して行っている防災訓練においても積極的に参加していただき、震災時の歯科医療救護活動にも十分な準備をしていただいております。いつ地震等が発生しても

おかしくない今日において、大変力強く感じているところでは、何時如何なる時でも、区民の安全そして健康が大事であり、そのための環境づくりが使命であると考えております。今後とも、日々の区政に全力を傾注してまいり所存でありますが、区民の健康、特に地域の歯科医療の充実につきましては、葛飾区歯科医師連盟の皆様方のご協力が必要不可欠であり、今後もご支援の程よろしく申し上げます。

結びに、葛飾区歯科医師連盟の更なるご発展を期待いたしますとともに、諸先生方のご多幸と益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

医科と歯科の連携

東京都議会 議員 和泉 武彦



葛飾区歯科医師連盟新執行部発足、誠にありがとうございます。貴連盟には設立以来永きにわたり、区民の皆様方の歯科医療への推進に多大なご尽力をいただいております。深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

我が国はこれから65歳以上の高齢者が、2025年には3,657万人となり、2042年にはピークを迎える3,878万人になると予測されています。また、75歳以上の後期高齢者数も増加していき、2025年には2,000万人を超え、さらに2055年には全人口に占める割合は25%超の見込みです。今後在宅医療が見込まれる人も2025年には29万人と推計され、急性期治療を終えた慢性期・回復期患者の受け皿として、終末期ケアも含む生活の質を重視した医療としての在宅医療のニーズは高まっております。

首都圏をはじめとする都市部において、自宅や子供・親族の家での介護・療養希望が4割を超えています。住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現に

なっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようになり、そのために医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医

ともいっそう「歯の健康」への普及啓発を進める所存でございます。

どうか、皆様方におかれましても、幼児期、学童期、成人期、高齢期それぞれのライフステージに沿った歯科保健の普及啓発並びに衛生行政に、今後ともご支援とご協力を賜りますことを、お願い申し上げます。

最後にになりましたが、葛飾区歯科医師連盟の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

最後にになりましたが、葛飾区歯科医師連盟の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

療福祉従事者が互いの専門的な知識を活かしながらチームとなり患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要であります。そして在宅医療充実のためには、在宅歯科医療の重要性がますます叫ばれています。

現在、歯の健康力推進歯科医師等養成講習会を受講した歯科医師を対象として、在宅医療機関に在宅歯科医療機器整備に必要な財政支援も進んでいます。歯科医師、歯科衛生士による歯科保健医療の提供と共に、介護者による口腔ケアの充実を図ることは在宅療養者のQOL（Quality of Life＝生活の質）向上に重要であり、口腔機能維持改善だけでなく、栄養状態の改善や誤嚥性肺炎の予防等全身の健康状態向上にもつながります。口腔機能は人がその人らしく生きていくために欠かせない機能であり、生涯にわたるQOLの維持向上に深くかかわるため、歯科医療は

葛飾区における

高齢者への取り組み

自由民主党葛飾総支部 幹事長 倉沢よう次



このような中、本区と麻浦区とは、平成20年に議員連盟の訪韓を機に交流が始まり、以来、相互の訪問をはじめ、友好関係を築く努力を重ねてまいりました。

葛飾区歯科医師連盟の皆様方には、長年にわたり区民の歯と口腔の健康の増進はもとより、地域医療の充実にも多大なご尽力をいただいております。深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

また、鎌田正幸先生の葛飾区歯科医師連盟会長ご就任を、心からお祝い申し上げます。

さて、私は、本年4月に、葛飾区日韓友好議員連盟の会長として、青木区長、秋家区会議長とともに、韓国ソウル市の麻浦区を訪問してまいりました。日本と韓国は、「近くて遠い国」とも言われるように、この国家間の関係については、堅調と申せる状況ではありません。

「生きる力を支援する生活の医療」と位置づけられています。在宅療養者においても低栄養と誤嚥性肺炎等の予防、食事の楽しみ、話す楽しみの享受によるQOLの改善や障害をもった口腔に対するリハビリテーションなどを目的として、継続的な口腔機能の維持管理を行う歯科保健医療の役割は大きく、病院医療から在宅医療への流れの中で病院側から歯科への連携の要望や地域の在宅療養支援診療所や

訪問看護ステーションなどからも歯科との連携・協働が求められています。

多くの国民が自宅等住み慣れた環境での療養を望んでいますが、医療機関や介護保健施設の受け入れにも限界が生じることが予測されることから在宅医療を担う医療機関の機能強化が必要となってきました。医療・介護サービスを受けつつ、安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指す上で、社会保障・税一体改

革大綱に沿って、病院・病床機能の分化強化と連携、在宅医療の充実、重点化・効率化、地域包括ケアシステムの構築等が着実に実現していく必要があります。2025年のイメージを見据えつつ、あるべき医療・介護の実現に向けて活動していきます。

医科と歯科が連携を図り、今後の在宅医療・在宅歯科医療の推進に向け施策を総動員し、地域包括ケアシステムを充実させていくことが重要で

ち58%が75歳以上となると予想されており、区では、高齢者が、いつまでも、いきいきと地域で活躍していただけるよう、公園の健康遊具設置や、健康教室の開設等々、高齢者の健康づくりを支援しています。

また、介護が必要となった高齢者には、医療や介護、介護予防、住まい、そして生活支援のそれぞれのサービスを連携して提供する仕組みであります。

「地域包括ケアシステム」の実現を目指してまいります。

人々は誰もが年齢を重ねることにより、身体の障害や、病気がから逃れることはできません。しかし、高齢者が一日でも長く地域で元氣いっばいに活動していただくためには、体を支える栄養やエネルギー

を取り入れ、人との会話を楽しむ基礎となる、歯と口腔の健康が何よりも重要であると思っております。

これまで、歯科健診や、休日応急歯科診療、福祉施設での歯科保健指導、ひまわり・たんぼの両歯科診療所の運営、更には、「かかりつけ歯科医紹介窓口」を設置するなど、多くの区民の方々の健康管理にご支援をいただいております。

その上、平成25年度からは、75歳以上を対象とする「長寿歯科健診」と「長寿フォロウ教室」の実施に協力力をいただいております。

歯科医師連盟の皆様のご長きにわたるご尽力に、重ねて厚く御礼を申し上げます。

また、葛飾区の高齢者が、地域の人々と積極的に関わり合い、お互いを尊重し合い、支え合いながら、いつまでも元氣でいきいきと活動することができるよう、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

私も自由民主党葛飾総支部といたしましては、区内の歯科医の皆様が安心して区民の歯と口腔の健康増進と地域の医療の充実と専念していただくことができるよう、これからも積極的に支援をしてまいります。

訪問中、私は常に笑顔で人と接することを心がけ、そのことが旧知の友人のように、お互いの心を通わせることに繋がったと強く感じています。

しかし、その大切な「笑顔」も、歯と口腔に悩みがあつては、なかなか人に見せることはできないものです。

高齢者が、元気を失う原因の一つとして、歯と口腔の機能低下があげられております。口腔機能が低下し、人と笑顔で会話をしながら楽しく食事ができなくなってしまうと、人との付き合いがうまくなくなり、外出が減り、家に閉じこもり、いずれは寝たきりになってしまうかもしれません。

現在、葛飾区には、65歳以上の方が約11万人、100歳を超える方も約150人おります。団塊の世代の方が75歳以上となる2025年には、本区の高齢化率は25%になり、そのうち

に、葛飾区の高齢者が、地域の人々と積極的に関わり合い、お互いを尊重し合い、支え合いながら、いつまでも元氣でいきいきと活動することができるよう、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

私も自由民主党葛飾総支部といたしましては、区内の歯科医の皆様が安心して区民の歯と口腔の健康増進と地域の医療の充実と専念していただくことができるよう、これからも積極的に支援をしてまいります。

葛飾区歯科医師連盟の皆様方におかれましては、日頃より、都民の健康増進・向上に多大なご尽力を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。

私も東京都議会自由民主党では、平成19年11月に「都議会自民党歯科医療政策研究会」を結成し、東京都歯科医師連盟の皆様と手を携えて、首都東京の福祉・医療の向上と都民の健康・安全安心の充実強化に取り組んでおります。

後期高齢者になる平成37年（2025年）には、65歳以上の高齢者人口が332万人となります。また、平成22年に行われた国勢調査では、平成37年までの15年間で、約64万人の高齢者が増加すると推定されています。この増加数は全国でも最大となります。

今後、急速に医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者、単身高齢者世帯等が増加することから、これを支えるサービスや人材の確保が大きな課題となっております。

「東京都第6期高齢者保健福祉計画」では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、予防、住

また、摂食・嚥下機能障害のある高齢者の方々に対しては、在宅療養者の摂食・嚥下リハビリテーションが広く提供されるよう、地域の医師、歯科医師、看護師などの人材育成や連携に関する取組事例をとりまとめた「東京都摂食・嚥下機能支援推進マニュアル」を作成するとともに、心身障害者口腔保健センターや都保健所において、関係者を対象とした連絡会を開催し、先駆的な連携事例の紹介なども行っています。

良好とは言えない日韓関係の中での訪韓であり、葛飾区と麻浦区双方とも緊張の面持ちで臨んだ表敬訪問でしたが、今回このような大きな成果を挙げることができましたのは、お堅いスピーチよりも、人と人が心を開いて接するときの満面の「笑顔」が大きく影響したのと思っております。

ロードバイクに乗り始めて3年になる。折からの自転車ブームもあり、街中でも同輩が目立つようになって来たが、公道は如何にも走り難く、河川敷を往復するのが常日頃である。然しながら、その河川敷でも一部の不心得者

先頃、自転車は車道を左側通行でとのお達しがあったが、猛スピードで真横を追い越す大型トラックや、すぐ前方から右折してくる対向車に肝を冷やしたのは一度や二度では無い。文化の違いとは言え、自転車レーンが整備され

ている欧州が羨ましい限りであるが、日本でも宇都宮や那須などでは自治体を中心となつて、自転車に優しい街づくりの取り組みが始まっている。

重要なのは、全ての人が自転車を車両として認知する事だそうである。その流れに期待したい。

「東京都第6期高齢者保健福祉計画」では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、予防、住

また、地域での先生方に在宅歯科診療に取り組んでいただくべく、在宅歯科医療設備整備事業により、必要な診療機器の整備費の補助も行っていきます。

さらに、平成23年度からは、心身障害者口腔保健センターにおいて、摂食・嚥下機能の評価を行う医師、歯科医師の養成や地域でリハビリテーションを担う医療従事者に対し、基礎から実地に至る体系的な研修を実施しています。また、地区医師会や歯科医師会等からなる協議会の設置、事例検討会や住民向けの講演会の開催など、都が作成したマニュアルを活用した様々な取組を行う区市町村に、包括補助により支援をしています。

また、鎌田正幸先生の葛飾区歯科医師連盟会長ご就任を、心からお祝い申し上げます。

さて、私は、本年4月に、葛飾区日韓友好議員連盟の会長として、青木区長、秋家区会議長とともに、韓国ソウル市の麻浦区を訪問してまいりました。日本と韓国は、「近くて遠い国」とも言われるように、この国家間の関係については、堅調と申せる状況ではありません。

現在、葛飾区には、65歳以上の方が約11万人、100歳を超える方も約150人おります。団塊の世代の方が75歳以上となる2025年には、本区の高齢化率は25%になり、そのうち

に、葛飾区の高齢者が、地域の人々と積極的に関わり合い、お互いを尊重し合い、支え合いながら、いつまでも元氣でいきいきと活動することができるよう、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

葛飾区歯科医師連盟の皆様方におかれましては、日頃より、都民の健康増進・向上に多大なご尽力を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。

私も自由民主党葛飾総支部といたしましては、区内の歯科医の皆様が安心して区民の歯と口腔の健康増進と地域の医療の充実と専念していただくことができるよう、これからも積極的に支援をしてまいります。

また、摂食・嚥下機能障害のある高齢者の方々に対しては、在宅療養者の摂食・嚥下リハビリテーションが広く提供されるよう、地域の医師、歯科医師、看護師などの人材育成や連携に関する取組事例をとりまとめた「東京都摂食・嚥下機能支援推進マニュアル」を作成するとともに、心身障害者口腔保健センターや都保健所において、関係者を対象とした連絡会を開催し、先駆的な連携事例の紹介なども行っています。

地の塩

ロードバイクに乗り始めて3年になる。折からの自転車ブームもあり、街中でも同輩が目立つようになって来たが、公道は如何にも走り難く、河川敷を往復するのが常日頃である。然しながら、その河川敷でも一部の不心得者

先頃、自転車は車道を左側通行でとのお達しがあったが、猛スピードで真横を追い越す大型トラックや、すぐ前方から右折してくる対向車に肝を冷やしたのは一度や二度では無い。文化の違いとは言え、自転車レーンが整備され

ている欧州が羨ましい限りであるが、日本でも宇都宮や那須などでは自治体を中心となつて、自転車に優しい街づくりの取り組みが始まっている。

重要なのは、全ての人が自転車を車両として認知する事だそうである。その流れに期待したい。

「東京都第6期高齢者保健福祉計画」では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、予防、住

また、地域での先生方に在宅歯科診療に取り組んでいただくべく、在宅歯科医療設備整備事業により、必要な診療機器の整備費の補助も行っていきます。

さらに、平成23年度からは、心身障害者口腔保健センターにおいて、摂食・嚥下機能の評価を行う医師、歯科医師の養成や地域でリハビリテーションを担う医療従事者に対し、基礎から実地に至る体系的な研修を実施しています。また、地区医師会や歯科医師会等からなる協議会の設置、事例検討会や住民向けの講演会の開催など、都が作成したマニュアルを活用した様々な取組を行う区市町村に、包括補助により支援をしています。

連盟と共に

公益社団法人葛飾区歯科医師会

会長 白橋 知幸

葛飾区歯科医師会は公益社団法人になって4年目を迎えました。そして執行部も2期目を迎えることになり、気を引き締めて会務を執行していきたく思っています。1期目には島田会長率いる葛飾区歯科医師連盟の役員の皆様におかれましては、衆議院議員選挙、参議院選挙、都議会、区議会、区長選挙とすべての選挙が行われ、非常に素晴らしい結果をもたらした事は非常に喜ばしい事だと思いません、また大変ご苦勞をされたことだと思えます。

葛飾区歯科医師連盟のこのように活発で粘り強い活動は伝統的に続いてきています。そのことが葛飾区歯科医師会の会務を裏から大きく支えていただいているということも感謝をしています。葛飾区歯科医師会は今年2月に公益社団法人となつて初めての都の監査が行われました。総会のあり方や総会の委任状はその委任する人の氏名を記載すること、本会理事等に連盟役員の出席に関して本会と連盟との峻別について等の指摘がありました。少しずつ改善していきたいと思つています。

おかげさまで葛飾区歯科医師会は公益社団法人としてそのほとんどの事業が公益性を有しており、地域医療事業は他のどの地区にも引けをとることはなく立派な活動を実践していると思つています。

この歴史をひもといてみますと、都内でいち早く休日応急歯科診療を実施し、昭和56年国際障害者年にはひまわり歯科診療所を開設し、平成2年の国際高齢者デー制定の年には、たんぼ歯科診療所を開設しました。平成4年から始めた成人歯科健診、また平成8年から開始したすくすく歯育で歯科健診、平成25年から実施した長寿歯科健診など他地区より先駆けて新規事業を始めることが出来たのも、葛飾区歯科医師会と葛飾区歯科医師連盟、また区役所、ま

た葛飾区議会等の連携が非常にうまくいって成し遂げられてきたものだと思つています。ただのなれ合いではなく、その事業の必要性を堂々と主張をして、葛飾区民のために今までの日あたらない方々への歯科医療の提供や、お口の健康を通して成人病予防を目的にまた超高齢化社会を20年前から見据えて在宅高齢者のための歯科診療所を開設し訪問歯科診療の拠点とするなど素晴らしい時代を先取りする感覚を持ち合わせている組織であると言つていいと思つています。歴代の会長や執行部の皆さんはもちろんのこと会員の先生方の熱い気持ちやこれからの事業を成就させてきたと思つています。

また2025年問題、団塊の世代が10年後には75歳以上の後期高齢者になります、その数は80万とも1千万人とも言われています。高齢者の方々が尊厳を持って住み慣れた環境の中で今まで通りの生活ができるような社会を作り上げていく、いわゆる地域包括システムの構築のために葛飾区でモデル事業が始まりました。我々も医師や介護職などの多職種の方々の連携を深めて行きたいと思つています。葛飾区には7つの地域包括支援センター(高齢者総合相談所)があります。今後地域包括ケアシステムをこのセンターが中心となって展開していくと考えられます。センターから高齢者の口腔ケアや口腔機能訓練等の問い合わせがあった時には会員の先生方に積極的なご協力をお願いしたいと思つています。

平成8年9年あたりに葛飾区歯科医師会最大の危機が訪れました、その当時の理性ある聡明な若手の会員により無事に問題を解決できた事も、この葛飾区歯科医師会の伝統であると言わざるを得ません。一歩間違えれば団体の解散となつていたのかもしれない。一人一人が葛飾区歯科医師会を思い、その事業に参加をしているという自負と自信を持って活動をしているからこそ戦えたと思つています。

歴史は繰り返すと言いますが、様々な企業や団体と同じような問題が繰り返されマスコミでその団体の代表者がろって頭を下げ謝罪をするシーンがよく見受けられます。時代は移り、社会全体が洗練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

共に歩みたい

葛飾区学校歯科医会

会長 飯塚 務

鎌田新会長のもと、若々しい執行部ご誕生、誠にありがとうございます。葛飾区学校歯科医会は、常に表裏一体の関係であると考えています。更に申し上げますと、葛飾区における歯科医師会・歯科医師連盟・学校歯科医会の三会は、それぞれの役割で執行して

ますが、横でも縦でも他地区に比べ大変良く連携が取れていると思つています。私達葛飾区学校歯科医会は、ご承知のように幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校の健診事業等々を、歯科医師会会員の方々にお願いいたしまして行っております。ところで

が、現段階で様々な問題が生じつつあります。それが、歯科医師会員の高齢化と、新入会員の歯科医師会離れであります。先輩の先生方のご努力で、葛飾区に於ける健診時の待遇は他地区の歯科医師会に比べても、上位にあるものと思つております。

しかし、それでも学校歯科医会で行っている健診事業に對して、御理解を頂けず引き受けて貰えることが、年々難しくなつて来そうだなという傾向が感じられるようになっております。しかも、葛飾区歯科医師会に新入会された会員でさえ、学校歯科医や嘱託

が、現段階で様々な問題が生じつつあります。それが、歯科医師会員の高齢化と、新入会員の歯科医師会離れであります。先輩の先生方のご努力で、葛飾区に於ける健診時の待遇は他地区の歯科医師会に比べても、上位にあるものと思つております。

さてこのような状況を考えますと、私達葛飾区学校歯科医会としては、報酬金額のアップや応援歯科医の費用弁償等、交渉しなければならぬところではあります。ところが現在の経済や葛飾区行政の財政事情からみても、そう簡単に行くものとは考えられ

が、現段階で様々な問題が生じつつあります。それが、歯科医師会員の高齢化と、新入会員の歯科医師会離れであります。先輩の先生方のご努力で、葛飾区に於ける健診時の待遇は他地区の歯科医師会に比べても、上位にあるものと思つております。

さて最後に、歯科医師連盟と学校歯科医会の関わり方についてですが、今までその事について改めて考えた事が無かつたという事は、

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

練され過去のなれあい主義の行動は許されなくなつてきていて当たり前かもしれない。葛飾区歯科医師会は早い時期にこの洗礼を受け改革され、外部から会計を監査し複数の人が関わり、誰が見ても間違いがない内容で会を運営しています。今回起きた日歯連の問題も、この時代のなかでまだ取り残された過去の歴史の産物かもしれません。過去の歯科医師連盟の活動費の不透明性は今の時代にはゆるぎのないことで有り、時代は矢のように進み、新しい時代感覚を持ったリーダーが会務をリードしていただき、会員は緊張感を持って監視をして時には行動を起こさないとけないと思つています。

新執行部に託す

葛飾区歯科医師連盟 顧問 島田 雅章

会員の先生方には、日頃連盟の活動にご協力ご理解を賜り深く感謝申し上げます。加藤静悟先生の後を引き継ぎ、連盟の会長をお受けした時は、身に余る光栄と重圧に心震える思いでした。微力ながら、本会・校医会が進められている健診事業のお役に立てればと思つて活動させて頂きました。現在、葛飾区歯科医師会は公益法人となり、国民の為に事業を展開することとなります。

そこで連盟の役割は、単に選挙の為だけの活動だけではなく、会員の先生にとつて身近な組織として、経営基盤の安定と安心して診療ができる環境作りを目的に活動して



左より 飯塚 務先生、島田雅章先生、鎌田正幸先生、白橋知幸先生